

以上のことから考えられるのは、単純に舟の重さです。それともうひとつ、舟の横幅です。

スギメとミンナの長さを比べると、さほど大差はありません。しかし、横幅に違いがあります。大袈裟に言えば、ミンナの船内にスギメがすっぽり入ってしまうほどです。ミンナの安定性は、この重みと横幅から産み出されています。

あとひとつ気になるのは、舟底の形状です。

スギメは、左右の形の整った丸底ですが、ミンナは、左右の形が違うどちらかと言えば平底に近い丸底。このことも、安定性に何かしらの影響を与える要素だと思っています。

3 転覆について

船に乗るものにとって、船の転覆は命に関わる緊急事態となります。なぜなら、速やかに船体を起こせず、沈没する可能性が高いからです。丸木舟の転覆率は、他の船に比べればはるかに高いです。しかし、速やかに船体を起こし再起動することが出来ます。

佐合島での航海練習は、かなり白波が立つ強風の日に何度か漕ぎましたが、転覆する気配がまったくありませんでした。

そんな訳で、ミンナの転覆実験を無理やり試みました。

浜の浅瀬で、大人四名が船縁に体重を掛けても、なかなか転覆しない。大人8名の体重でやっと転覆させることが出来たのです。

さらに、凄いことに、重さ1.3トンの舟を大人3で、起こすことが出来たこと。復元後の船内の海水量は、船内の半分ほどしかないため、排水作業がしやすくなっていたことです。

以上から、もしも、丸木舟が転覆しても、すぐに緊急事態になる可能性は少ないことが理解できる。ただし、波打ち際での転覆は、その限りではない。